

多様な考えを知ってさらに考えて「主体的・対話的で深い学び」へ...

STUDYNET「エキスチェンジボード機能」の活用

STUDYNET（スタディネット）の「エキスチェンジボード機能」

先生は学習者に課題を配信。学習者がそれぞれの考えをタブレットPCに書き込み送信すると、全員の考えがすばやく一覧で表示されます。出てきたいろいろな考えからいくつかを選んで大きく見せたり、分類したりすることもできます。

日野第八小学校4年生、理科
「星や月」の導入部分で活用。
授業者は梅田悠佑先生です。

＜エキスチェンジボード機能を活用した授業例＞

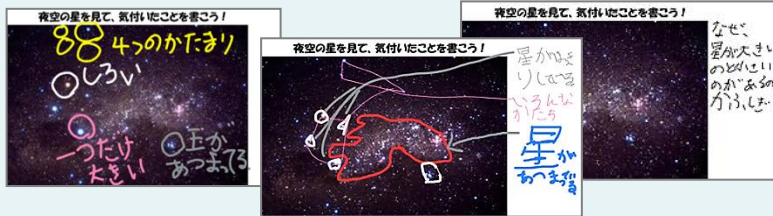
①先生から児童のタブレットPCへ 課題画面を一斉配信



気づいたことをいろいろ
書き込んでね！



②児童がいろいろ気づいたことをタブレットPCに書きこんで送信 ⇒ 前のスクリーンで全員の画面が共有化される



児童が書き込んだ画面の例



自分が書いた内容を
発表してくれる人！

③一覧表示の画面から、発表する児童の画面を大きく見せたり、分類して色を付けたり、いくつかの画面をピックアップして児童に考えの説明を求めたりしながら、まとめていく。



梅田先生は児童の発言と関連付けて
パワーポイントやプリントなども活
用し、学習のポイントを整理されま
した。その後、児童に「星座早見
盤」の使い方を指導され、授業が終
わる頃には児童は本物の夜空で星を
見ることに意欲満々でした！



＜日野第八小学校・学校だより10月号より一部抜粋＞

タブレット画面上で鮮明な写真データを見ながら考えることができ、また挙手して発表することに苦手意識を持っている児童の考えもみんなで共有できるなど、大きな成果が上がっています。 日野第八小学校ICT活用教育担当 生田誠先生

＜POINT＞ 友達がどんなことを書いたのか、子供たちはとても興味を持っています。共有化した一覧が小さくて見えにくい場合は、一覧画面を一人ひとりのタブレットPCへ送信して手元で大きく見せることができます。また、いくつか選んだ学習者の画面（考え）を次の課題として一人ひとりに送信し、じっくり見せてさらに考えを書かせることも可能です※。授業の展開によって、「先生と学習者」や「学習者どおし」で課題や考えが何回も行ったり来たり（エキスチェンジ）することで、より「深い学び」へつながっていく可能性があります。



※いくつかの考えを手元でじっくり見ながら気づいたことを余白に書く
(旭が丘小・4年生理科)